

個別目標2-2 | 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策2-2-1

世界へ羽ばたくまちをつくります



【10年後のめざす姿】

- 空港跡地を中心とする地区が、国際都市にふさわしいにぎわいのある拠点、大田区の産業を世界に発信する拠点として機能しています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
空港跡地の施設を利用したことがある区民の割合(%)	—	—	30%
天空橋駅の年間乗降人員数(千人)*	11,013千人 (平成19年度)	11,100千人	14,500千人

*京浜急行線及び東京モノレールのそれぞれの鉄道事業者が発表した天空橋駅における乗降人員数の合計です。

【現状と課題】

羽田空港は、平成22年10月末に再拡張事業*が終了し、4本目の新滑走路が供用開始予定で、航空機の発着能力が現在の約1.3倍に増強されると想定されています。国内航空路線が充実するとともに、深夜・早朝を含めて年間約6万回の国際便の運航が予定されています。そのため、空港を結節点*とした人・もの・情報の国際交流が活発化し、首都東京の玄関口としての役割、機能が飛躍的に増大することが見込まれています。大田区としてはこの好機を活かして、「国際交流都市」づくりへの取り組みを一層進めていくことが必要です。

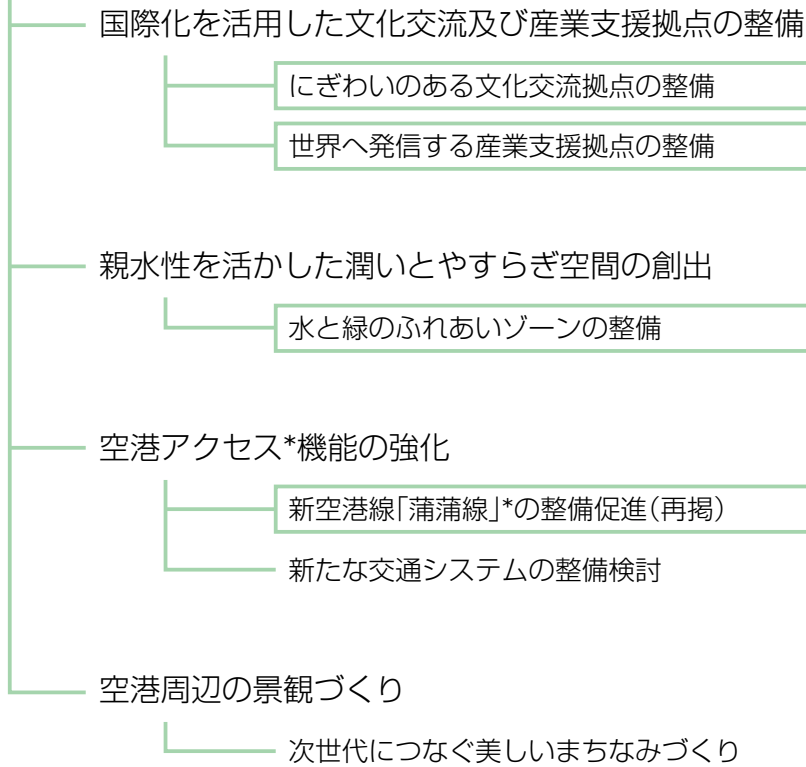
一方、羽田空港沖合展開事業*や再拡張事業により、約53haの空港跡地が発生します。空港や市街地に隣接した貴重な土地として、大田区にとって様々な観点から有効な土地利用を進めていく必要があります。空港跡地の利用については、羽田空港移転問題協議会(構成員:国土交通省、東京都、大田区、品川区)において、平成20年3月に羽田空港跡地利用基本計画を取りまとめました。大田区では、この計画を踏まえ、平成20年10月に「羽田空港跡地利用OTA基本プラン」を策定し、区としての考え方をまとめました。

今後、産業支援及び文化交流拠点の整備とともに、親水性を活かした自然空間を創出し、大田区の発展につなげていくことが求められます。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

世界へ羽ばたくまちをつくります



羽田空港跡地 現況位置図



出典：羽田空港跡地利用OTA基本プラン(一部加筆)

【 施策の方向性と主な事業 】

①国際化を活用した文化交流及び産業支援拠点の整備

羽田空港の国際化による波及効果が大田区の発展につなげるため、空港跡地における文化交流や産業支援の強化を進めるとともに、人、もの、情報の交流によるにぎわいを創出し、活気ある国際交流拠点都市としていきます。

計画事業名	にぎわいのある文化交流拠点の整備						
主な取組内容	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備						
主な取組内容	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

②親水性を活かした潤いとやすらぎ空間の創出

多摩川と海老取川に面する空港跡地の特性を活かし、区民や国内外からの来訪者が潤いとやすらぎを感じる、水辺空間の整備を推進します。

計画事業名	水と緑のふれあいゾーンの整備						
主な取組内容	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いとやすらぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

③ 空港アクセス*機能の強化

羽田空港の利用者数増加に対応し、東京・日本の玄関口としての機能強化を図るため、既存の鉄道網を活用した路線の整備促進などによる広域的なネットワークの形成を図ります。また、観光の視点も含め水辺を活かした水上交通の導入等を検討します。

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」*の整備促進(再掲) ▶詳細は、P108を参照してください。
-------	---

④ 空港周辺の景観づくり

東京・日本の玄関口としてふさわしい景観づくりのため、多摩川と海老取川、東京湾の水辺空間を活かした空港周辺地域の整備を進めます。

イメージ例：多摩川沿いのプロムナード*



出典：「羽田空港跡地利用OTA基本プラン」

イメージ例：歩行者デッキの夕景



出典：「羽田空港跡地利用OTA基本プラン」